

AvanStrate 環境・CSRレポート

2010





経営理念

私たちは、常に革新を続け、
新しい製品・サービス・経営の
創出によって、
存在感のある会社となり、
社会に貢献します。

■行動指針

- ◆お客様を大切にし、高品質の製品とサービスを提供します。
- ◆新たなことがらに挑戦することを尊び、行動することを重視します。
- ◆自由闊達で合理的な議論をし、常に新しいコンセプトを作りだします。
- ◆一人ひとりが法令を遵守し、環境の保全に努め、高い倫理観を持って行動します。

■社名の由来

社名「AvanStrate」

先進性を意味する「Avan」と、ガラス基板を意味する「Substrate」を組み合わせた、従来のガラスメーカーとは一線を画す斬新なネーミングで、アグレッシブな企業姿勢と高品質で精緻な製品づくりをイメージしています。

AvanStrate株式会社

マークについて

「A」をモチーフにしたシンボルは、製品の先鋭的なイメージをシルエットと爽快なグリーンで表現。4つの先端は、輝かしい未来に進む企業姿勢、事業と技術、先進性、独創性を表しています。シンプルでダイナミックなロゴは、「S」をシンボルと共通カラーとし、一体感を出すことで訴求力を高め、ロゴマークとしての印象をより深いものにしています。



編集方針

AvanStrate株式会社および連結子会社3社で構成されるAvanStrateグループは、事業活動を通じ持続可能な社会の形成に向けて、様々な取り組みを行っています。AvanStrateグループを取り巻くステークホルダーの皆様へこれらの取り組みを報告するため、「AvanStrate環境・CSRレポート」の発行を開始しました。報告内容は、GRI[※]ガイドラインの考え方にに基づき、「AvanStrateグループが重要と考えるテーマ」と「社会にとって重要なテーマ」を検討し、報告すべき重要なテーマを選定しています。本レポートを通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションをより有効なものにしたいと考えています。

※GRI Global Reporting Initiativeの略。サステナビリティレポート（持続可能性報告書）に関する国際的なガイドラインの作成・普及を目的として設立された団体。

◆報告対象期間

原則、2009年度（2009年4月～2010年3月末）としますが、今回は初回発行につき、一部過年度の活動内容が含まれています。

◆報告対象範囲

AvanStrate株式会社および連結子会社3社

◎本レポート上での表記について

- ・「日本」……………「AvanStrate株式会社」
- ・「台湾」……………「AvanStrate Taiwan Inc.」
- ・「シンガポール」……「AvanStrate Asia Pte Ltd.」
- ・「韓国」……………「AvanStrate Korea Inc.」

◆参考としたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」
- ・グローバル・リポーティング・イニシアティブ（GRI[※]）
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン 2006年」
- ・中国社会科学院「中国企業社会的責任方向の作成に関するガイドライン」

◆発行日（次回発行日）

2010年12月（2011年11月頃予定）

※年次での発行とします。

◆発行責任部署および連絡先

AvanStrate株式会社 アドミニストレーション統括部

TEL：03-5780-7638 FAX：03-5780-7635

お問合せフォーム

<http://www.avanstrate.com/inquiry/>

【WebサイトURL】

CSRへの取り組み <http://www.avanstrate.com/>

目次／Contents

編集方針・Contents	2
トップメッセージ	3
AvanStrateの概要	5
コーポレート・ガバナンス	7
コンプライアンス	8
〈環境報告〉	
環境マネジメント	9
環境に配慮した製品開発	11
環境保全活動	12
環境パフォーマンスデータ	14
〈社会性報告〉	
品質・CSへの取り組み	15
従業員との繋がり	17
地域社会への取り組み	19
拠点紹介	20
第三者所見	21
GRIガイドライン対照表	22



■ステークホルダーとの関わり

AvanStrateグループは、AvanStrate株式会社と連結子会社3社により構成され、液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の製造・販売を主たる事業として、国内外で事業を展開しています。AvanStrateの事業に関わる様々なステークホルダーの皆様に対して、グループ体となってCSRを推進していきたいと考えています。

高品質の製品のご提供とともに、
環境への万全の配慮を実現する。
私たちの取り組みの基本は
ここにあります。

代表取締役社長 牧野 純



お客様の信頼に、確かな技術力と
高水準の品質でお応えする AvanStrate。



世界的に液晶テレビやパソコンの液晶モニター、ノートパソコン、携帯用ゲーム機や携帯電話の需要が拡大し、3Dテレビ、タッチパネルさらにデジタルサイネージ（フラットパネルディスプレイによる電子屋外広告）などの登場により、液晶ディスプレイの市場が新たなステージへと移行していく中、液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板を提供する私たち AvanStrate（アヴァンストレート）の役割はますます重要なものとなってきております。

近年、業界全体を見渡しますとアジアの市場が活況を呈してきており、また世界の生産構造も様変わりしました。中でも韓国メーカーの勢いは目を見張るほどであり、特に World Wide でのシェアを見た場合に、ここ数年での拡大は顕著なものがあります。

このような市場の動向を背景に、私たちはその韓国にも生産拠点を置き、現地のトップメーカーであるお客様と良好な関係を構築しております。そうした関係を維持するために当社に課せられる要求は、あらゆる面で非常に厳格であり、その品質水準は世界最高レベルともいわれているほどであります。私たちはこのようなお客様のニーズに確実に応えし、常に高い品質の製品をご提供することで揺るぎない信頼を確立できるよう、日夜、全力で取り組んでおります。さらにその成果を台湾、シンガポール、日本の各拠点とも共有することで、すべてのお客様にご提供する製品の品質の底上げにつなげることが、重要な課題であると認識しております。

社会が求めるものには必ず応える。
それが私たちの使命です。



私たちは製造業という立場から環境問題にいち早く取り組み、現在、ゼロエミッションや省エネルギーといった課題においてもひと通り体制を整えつつあり、今後はそれらをさらに深化させていく段階にあると考えています。また、様々な規制に対しても、AvanStrateが拠点を置く国のうち、最も厳しい日本のレベルに揃えるようにしております。

ここ数年での一番大きな環境問題への対応は、環境負荷物質を一切使用しないガラス基板の組成を開発し、それを製造するために莫大な費用をかけて工場の溶解炉をすべて切り替えたことです。ガラス製造の過程でこれら環境負荷物質を使用しても、そのガラスが人体に悪影響を及ぼすことはありません。しかしヨーロッパ(EU)を中心に展開された環境負荷物質の使用規制の制定に加え、市場や社会の声に応じることが、企業の社会的責任であるとの判断から実施した次第です。

もともと環境負荷物質は、主にガラスの溶解時に発生する気泡を抜く目的で使用されていたもので、ガラス原料を高温で溶解する際の熱エネルギーを抑制する役割を果たしていました。しかし、この環境負荷物質を使用せずにガラスを製造するには、今度は逆に溶解する際に従来よりもさらに多くの熱エネルギーが必要となることが推測されました。そこで私たちは専用の「スーパーグリーンガラス溶解炉」を構築し、電気加熱を主とした加熱方法を用いることで、この溶解熱エネルギーの抑制を可能にしました。さらに、この溶解炉はCO₂排出量の大幅な削減やサーマルNOx(窒素酸化物)の抑制など、様々な環境への配慮をも実現するに至っております。

この溶解炉で製造された、特定の環境負荷物質を含まない「スーパーグリーンガラス(NA32SG)」は、現在当社の主力製品となっております。

私たちは、環境問題への対応は、社会が求めている以上は必ず応えていかなければならない企業の責任であると考えます。まずは、かけがえのない環境を守るために、私たち自身がやらなければならないことをしっかりとやる、それこそが環境問題への取り組みの基本ではないでしょうか。

地域に根差した各拠点の取り組み。
私たちの活動は始まったばかりです。

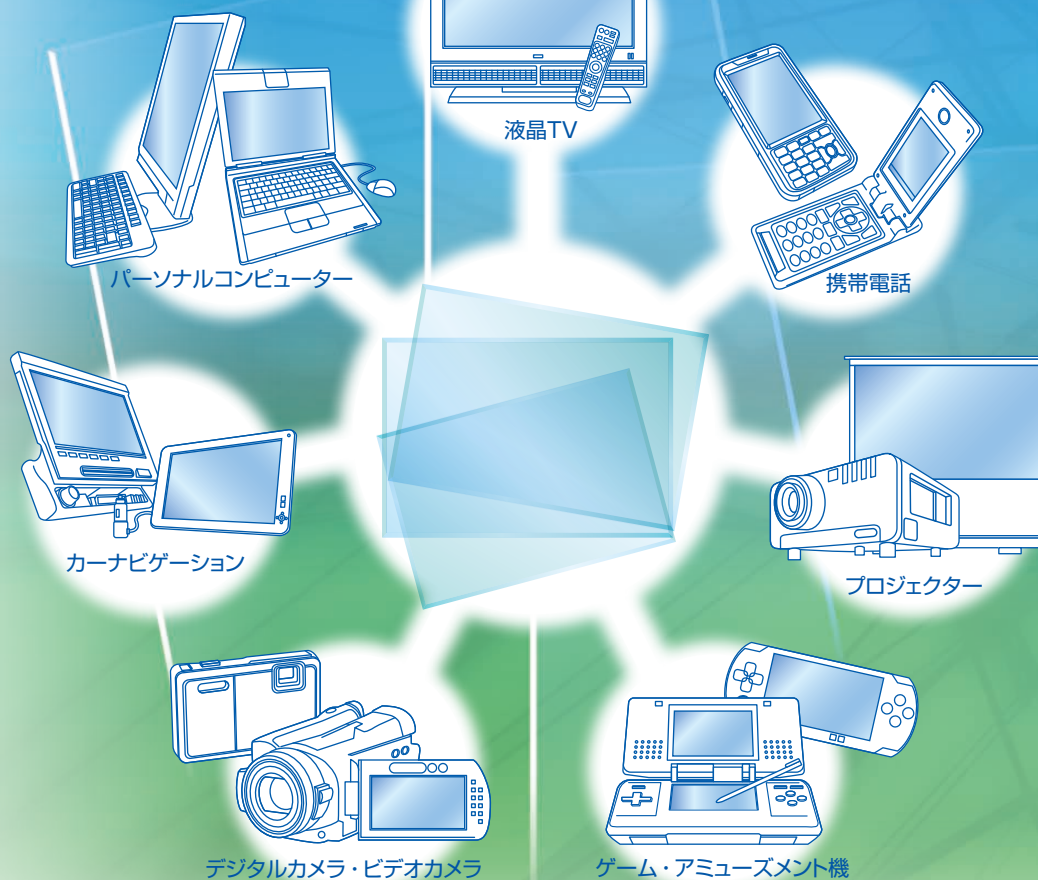
私たちは現在、日本・台湾・シンガポール・韓国に拠点をもち、それぞれの国において製造・販売の一貫体制を敷くことで顧客満足を図っております。全従業員数は約1,500人ですが、その中で日本人は約300人と、日本人以外の従業員の非常に多い企業となっております。そのため、かつてのような日本人幹部がいて、管理や指導を行うという構造は徐々に無くなりつつあり、それにともない各拠点において独自の製造・営業体制の構築が必要になってくると思われます。また国によってはお客様の製品に対する考え方も違ってきますので、それぞれの国に合わせた付き合い方がより重要になってきます。さらに品質への要求とともに環境に対する要求もますます厳しくなってくることが予想されます。全社的にもこれまではお客様からの品質への要求に応えていくのが精一杯という状況でしたが、今後は私たちが掲げる環境理念を軸とした、各地域での取り組みがより一層求められてくるのではないのでしょうか。そういった意味では、まさにこれからが私たちのCSR活動の真のスタートになるのではないかと考えております。

ぜひ、今後のAvanStrateに期待していただくとともに、関係者の皆様の変わらぬご支援、ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。



AvanStrateの概要

AvanStrate Profile



■会社概要

会 社 名：AvanStrate株式会社

設 立：1991年5月21日

代 表 者：代表取締役社長 牧野 純

拠 点：本社／四日市工場

- ・東京オフィス
- ・海外現地法人
- ・AvanStrate Taiwan Inc.
- ・AvanStrate Asia Pte Ltd.
- ・AvanStrate Korea Inc.

資 本 金：135億円

〔主要株主：カーライルグループ、HOYA株式会社、役員等〕
(2010年12月15日現在)

売 上 高：44,141,396 (千円) (連結：2010年3月期)

経常利益：2,044,302 (千円) (連結：2010年3月期)

従業員数：約300名(国内) (2010年3月31日現在)
約1,700名(連結) (2010年3月31日現在)

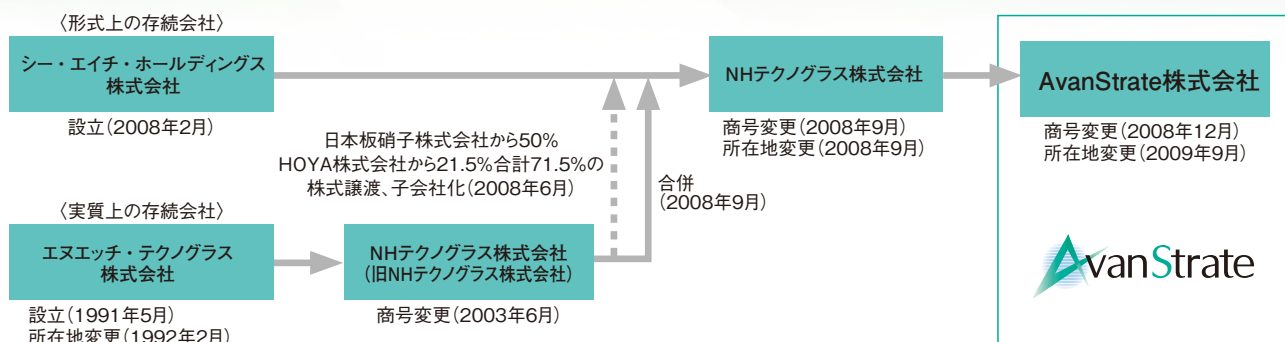
■沿 革

年 月	沿 革
1991年 5月	日本板硝子(株)とHOYA(株)の合併会社としてHOYA(株)内に設立
1992年 2月	営業所開設ならびに本社所在地を横浜へ移転
1992年 2月	四日市工場稼働
1992年 4月	NA45量産開始
1995年10月	NA35量産開始
2000年 8月	台湾現地法人設立
2000年 8月	シンガポール現地法人設立
2002年11月	韓国現地法人設立
2003年 9月	NA32量産開始
2005年 4月	NA35G量産開始
2005年12月	NA32R量産開始
2007年 7月	NA32SG量産開始
2008年 6月	カーライルグループ資本参加
2008年12月	NHテクノグラス(株)よりAvanStrate(株)へ社名変更
2009年 9月	本社所在地を横浜から四日市へ変更
2010年 3月	東京オフィスを開設し、本社よりファイナンス統括部財務企画課が、横浜より営業統括本部が移転

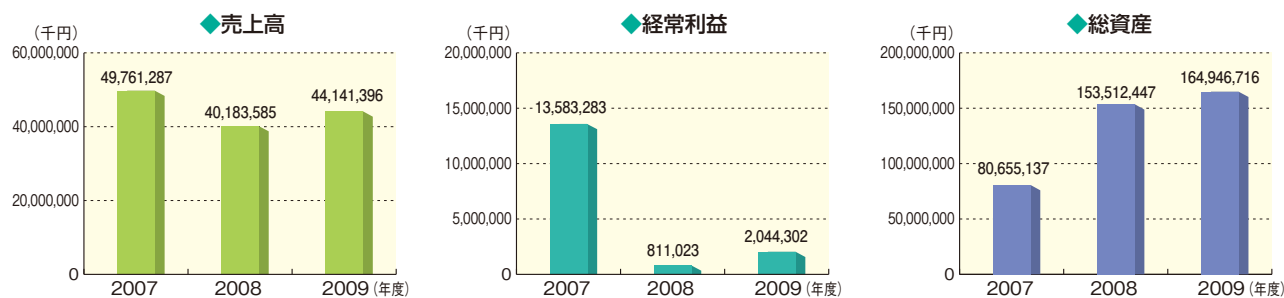


※AvanStrate株式会社および各連結子会社において製品製造および販売をしています。

所有形態



財務情報



コーポレート・ガバナンス

Corporate Governance

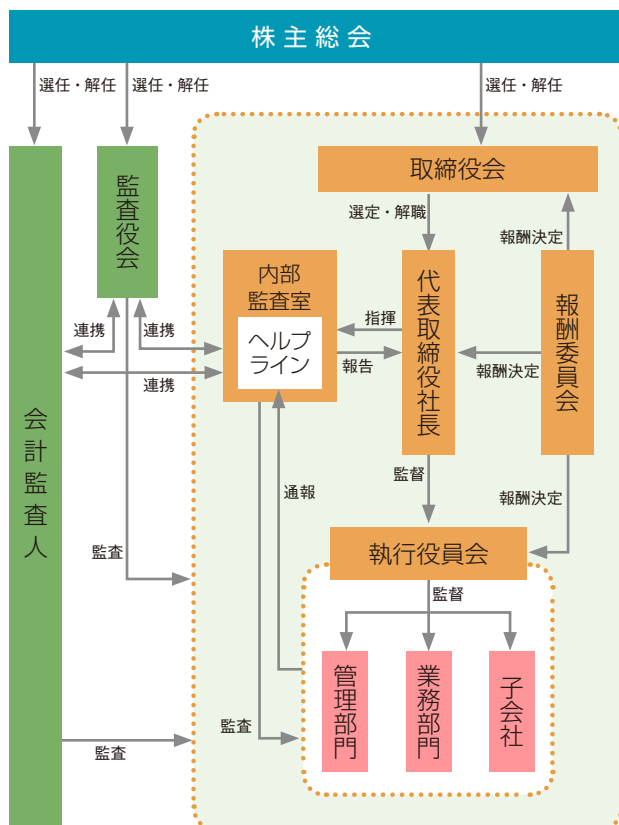
■コーポレート・ガバナンスの考え方

AvanStrateの経営理念に掲げるように「存在感のある会社となり、社会に貢献する」ためには、株主をはじめ、顧客、地域社会、債権者等のステークホルダーから信頼を獲得し続けることのできる体制を構築していくことが課題と認識しています。さらに、このコーポレート・ガバナンス体制がもたらす安定性が、AvanStrateの企業価値の拡大や、成長に欠くことのできない企業としての継続性に寄与するものと考えており、この体制を経営組織の中心に位置づけています。

■コーポレート・ガバナンス体制

AvanStrateは、取締役会は代表取締役1名、取締役2名、社外取締役4名の合計7名、監査役会は常勤監査役1名、社外監査役2名の合計3名からなる、取締役会、監査役会設置会社です。AvanStrateの定款には、取締役の任期は1年と定められており、毎年の定時株主総会において取締役としての信任を株主の皆様に関し、取締役の経営活動の適正さを確保しています。また、AvanStrateは執行役員制度を導入しており、執行役員による業務執行機能と取締役による経営監視機能の位置づけを明確にすることで、迅速な業務執行と、適正なマネジメントが同時に果たせるよう配慮しています。また取締役および執行役員の報酬は、社外取締役により構成された報酬委員会が決定することとなっており、経営者による恣意的な報酬決定を排除しています。

◆ガバナンス体制図



■内部統制

◆内部統制の基本方針

AvanStrateでは、内部統制システムに関する基本方針を、AvanStrateグループにおける業務の適正さを確保するために制定し、次の各項目について体制の整備を実施しています。

〈基本方針の項目〉

1. 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 財務報告の適正性を確保するための体制
3. 反社会的勢力との関係を遮断するための体制
4. 取締役の職務執行に係る情報の保存および管理に関する体制
5. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
6. 取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
7. 当社企業グループにおける業務の適正を確保するための体制
8. 監査役を補助すべき使用人を置くことおよび当該使用人の取締役からの独立性に関する体制
9. 取締役および使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
10. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

◆反社会的勢力の排除体制の整備状況

AvanStrateでは、例外無く反社会的勢力とは一切の関係を持たず、明確に関係を排除することを、経営上の基本的な方針としています。そのため、「反社会的勢力対応要領」を設置し、対応責任者をアドミニストレーション統括部長と定め、反社会的勢力からアクセス等があった場合には、アドミニストレーション統括部長に情報を集約するよう定めています。

また、従業員にその姿勢を深く認識させる目的で従業員研修を実施しています。なお、AvanStrateでは人事・総務課長を不当要求防止責任者として選任し、所轄の警察署に届出を行い、警察と連携し、情報を取得できる体制を構築しています。

■リスクマネジメント

AvanStrateでは、リスク管理規程を定め、取締役および執行役員（子会社の役員を含む）から構成するリスク委員会を開催しています。リスク委員会では、事業上のリスクを抽出したうえで評価し、重点的に対処すべき課題を定め対処を実施し、さらに活動をレビューして次につなげることで、リスクの低減を継続的に進めています。特に地震を中心とした災害リスクに関しては、別に定める危機管理規程に基づきBCP（Business Continuity Plan）の策定を実施しています。なお、2009年春に流行した新型インフルエンザの発生に際しては、同規程に基づき直ちに危機対応会議を開催し、具体的な施策を実施しました。

コンプライアンス

Compliance

■コンプライアンス体制

AvanStrateでは、コンプライアンス規程を定め、アドミニストレーション統括部を中心としたコンプライアンス体制を構築し、必要な規程・マニュアル等の整備や役職員に対する教育活動等を実施しています。また、アドミニストレーション統括部長をコンプライアンス推進管理者として、法務部門を中心に各コンプライアンステーマに関連する部門が連携して勉強会を開催したり、課題解決にあたるなどの取り組みを実施しています。

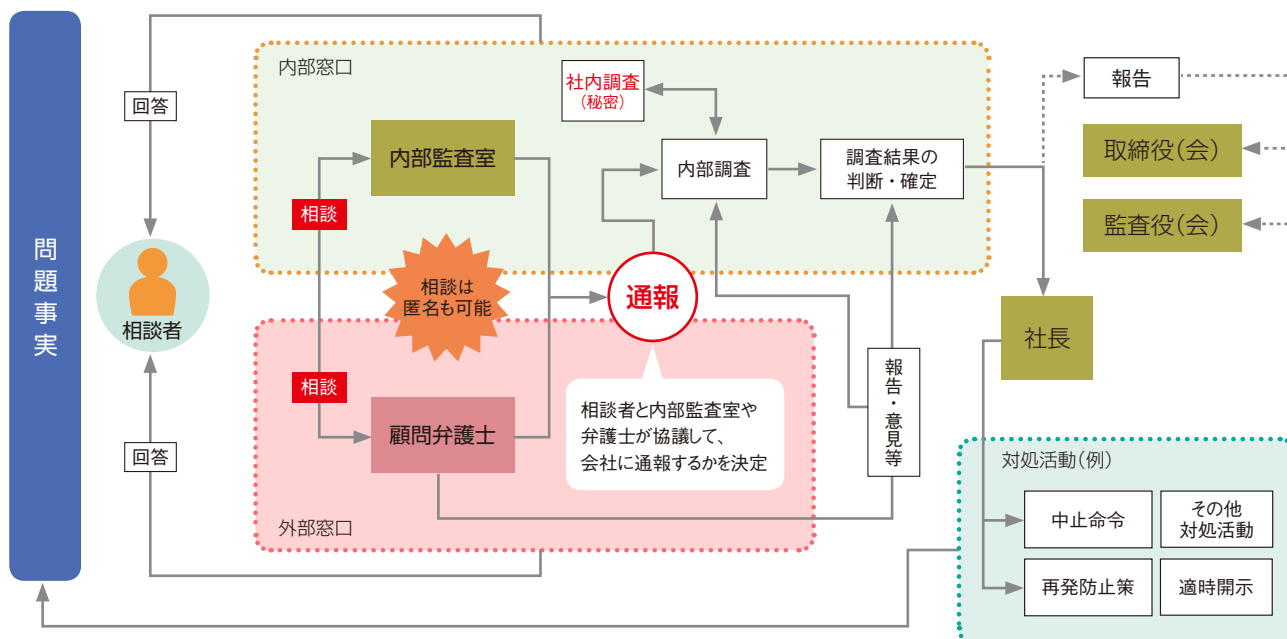
■情報保護管理

AvanStrateは、メーカーという特徴を踏まえ、知的財産権保護、その他機密情報に関するコンプライアンス、お客様・従業員の情報の保護に努めています。社内のコンプライアンスの向上と透明性確保のために、2008年に個人情報に対する基本方針を定めています。また、2010年には、インターネット利用ガイドライン、IT情報セキュリティ・ポリシー、電子メール利用ガイドラインを制定しました。

■内部通報制度

ヘルプラインとは、事業活動において発生してしまったコンプライアンス課題などの問題を、従業員から経営者に伝えることで、早急に対処することにより、会社組織の中で解消し、損害を最小化するためのシステムです。通常の組織構造の中では、問題の解消や相談者の保護が期待しにくい場合等を想定し、第三者的立場である内部監査室や顧問弁護士がこの制度を管理しています。そのため原則として、相談者についての情報は、秘密性を保ち調査・報告されます。

◆内部通報制度



■知的財産の重視

AvanStrateでは、知的財産統括部が中心となり、社内の研究開発や外部との共同研究で生まれた、新たな技術やガラスの組成等について、積極的に特許権など（外国特許を含む）の知的財産権の取得を進めています。

また、他社特許などへの侵害の回避にも、慎重な対処を実施しており、AvanStrate内の発明情報や新規技術の導入に関する情報を知的財産統括部に集約し、同部が外部専門家の協力なども得て、高度な知見に基づいて調査しています。

■情報セキュリティ

AvanStrateでは、セキュリティ・ポリシーを定め、従業員に対する周知活動を実施しています。また、セキュリティ・ポリシーを含めたAvanStrateの情報セキュリティレベルを向上させるため、管理部門、IT部門、研究開発部門、製造部門が合同で「情報セキュリティ委員会」を発足させています。その推進責任者にはCAOがあたり、誓約書の見直し、情報機器の管理、持出等のルール、棚等の施錠管理など、情報セキュリティ体制の強化のためにあらゆる側面から現状を見直し、継続的にセキュリティレベルを向上する体制を構築しています。

■独占禁止法への対応

AvanStrateでは、日本に限らず、海外諸国での取引においてカルテルの形成や、不当な価格決定が無いよう、独占禁止法に関する教育活動を実施しています。

また、原材料などの調達においては、買主としての優越的な地位を濫用し、仕入れ価格を不当に減額したり、不利な条件を押し付けるなどの行ないないよう、購買部門を中心に指導しています。



環境マネジメント

Environment management



環境に対する考え方

私たちAvanStrateグループでは、環境保全活動を経営の最重要課題と位置づけ、国際規格ISO14001に則った環境マネジメントシステム(EMS)を全拠点で構築し、運用しています。

次世代に美しい透明な未来を贈るため、限りある資源・エネルギーを大切にするとともに、持続可能な社会づくりに貢献し、環境との調和ある成長を目指していきます。

環境方針

- 1 事業活動にともなう環境負荷について、関係法令を遵守することはもとより、自主管理基準を設定して環境管理レベルの向上に努め、その継続的低減を推進していく。
- 2 地球環境保全の重要性を認識し、省資源・省エネ・有害物質の排出削減・資源リサイクルによるゼロエミッション等を全社員の共通の活動目的とし、組織的な環境活動を継続的に推進していく。
- 3 環境管理システムおよび組織体制を整備し、環境目的および環境目標を定め、その実現を図るとともに、適宜その見直しを行うことを通じて環境管理システムの継続的レベルアップを推進する。
- 4 全社員にAvanStrateの環境理念および環境基本方針を周知し、これに添って行動するよう社員教育を推進し、環境保全に関する意識の高揚を図る。
- 5 原材料などの供給業者および請負会社に対して、AvanStrateの環境理念と環境基本方針を周知し、理解と協力を要請する。

環境マネジメントシステム

AvanStrateグループでは、日本・台湾・シンガポール・韓国の全拠点でISO14001の認証を取得し、マネジメントシステムの運用を図ることで、継続的な改善に繋がっています。

〈ISO認証取得状況〉

事業地域	認証取得年月日	
日本(四日市)	ISO14001	1999年2月
台湾	ISO14001	2005年9月
韓国	ISO14001	2007年7月
シンガポール	ISO14001	2008年7月

環境教育

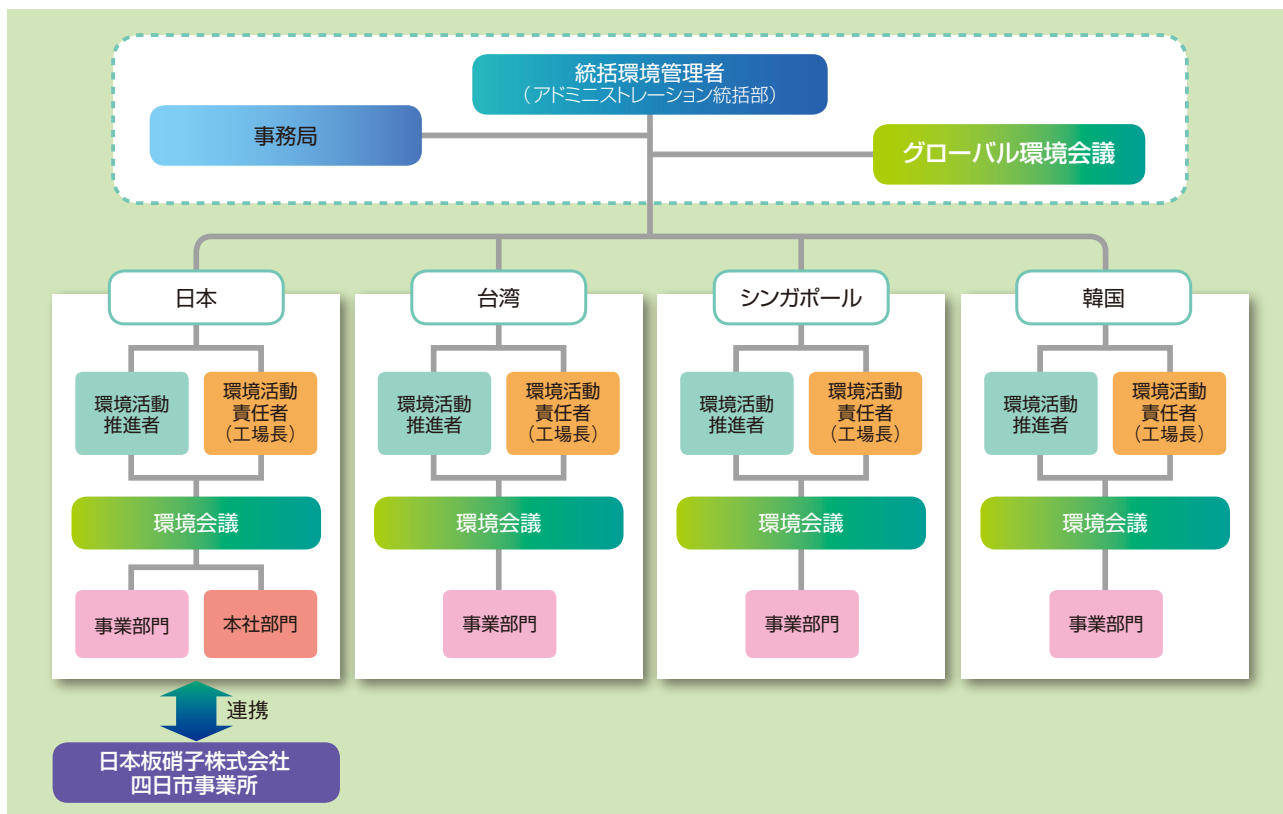
AvanStrateグループでは、環境保全活動を社内に定着させていくため、従業員一人ひとりの環境意識の向上を図るよう、環境教育を全従業員に対して実施しています。この環境教育では、自社の環境マネジメント体制から身近な環境への取り組みまで、環境全般と幅広い内容となっています。今後は、より環境に優しい責任ある行動ができる人材育成を目指していきます。

環境マネジメント体制

AvanStrateグループでは、日本・台湾・シンガポール・韓国の各拠点でそれぞれ環境マネジメントシステムを運用しています。AvanStrateは、日本板硝子株式会社 四日市事業所の敷地内に

あるため、日本板硝子株式会社と連携した環境マネジメント体制を構築・運用し、さらに、労働安全衛生に関する取り組みがマネジメントできるような仕組みを取り入れています。

◆環境マネジメント体制



環境目的・目標

AvanStrateグループでは、日本・台湾・シンガポール・韓国の各拠点で環境目的・目標を策定し、これに基づいて環境保全活動を実践しています。

〈四日市工場の環境目的・目標〉

【評価】 ○：達成 △：ほぼ達成 ×：未達成

実施項目	環境目的	2009年度目標	2009年度		2010年度目標
			実績	評価	
省エネ・CO ₂	電力使用量を原単位で2004年度比12%削減	10%削減	10%削減	○	12%削減
	ガス使用量を原単位で2004年度比12%削減	10%削減	10%削減	○	12%削減
廃棄物	産業廃棄物を原単位で6%削減	5%削減	5%削減	○	6%削減
	ゼロエミッションの継続	継続	継続	○	継続

環境監査

AvanStrateグループでは、環境監査として年1回の内部監査と認証機関による審査を実施し、環境マネジメントシステムが有効に機能しているかを検証し、継続的改善に努めています。2009年度の環境監査の結果は右記の通りです。

	内部監査	認証機関による審査
重大な不適合	0件	0件
軽微な不適合	28件	1件
観察事項	17件	14件



環境に配慮した製品開発

Eco-product development

環境負荷物質に頼らない 「スーパーグリーンガラス (NA32SG)」

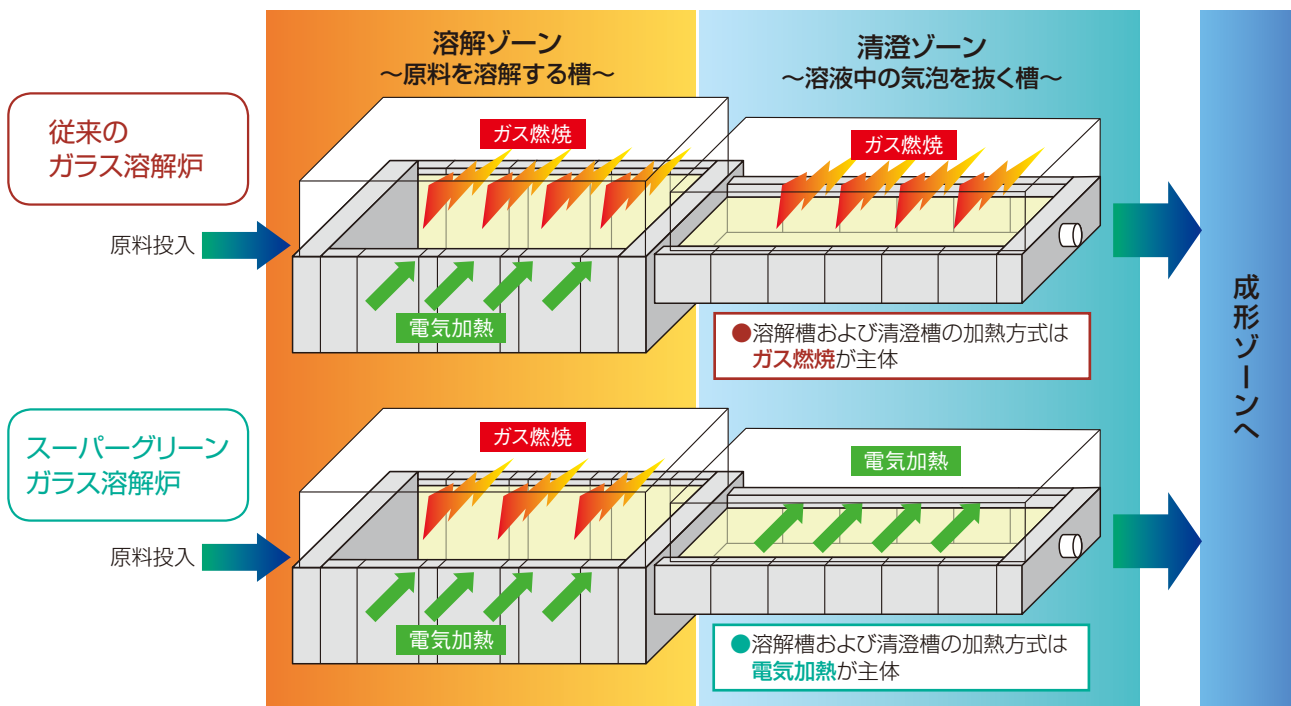
スーパーグリーンガラス生産

液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の溶解には、ガラスの品質維持のため、ガラス原料の一部に特定の環境負荷物質を使用していました。ガラス溶解炉の構造と溶解熱エネルギーの供給バランスを見直すことで、特定の環境負荷物質に頼ることなくガラスの品質を維持できる技術の確立に成功しました。現在では、特定の環境負荷物質を含まない「スーパーグリーンガラス (NA32SG)」を主力商品としています。

スーパーグリーンガラス溶解炉

ガラス原料を溶解する工程は、高温の熱でガラス原料を溶かす必要があるため、非常に多くのエネルギーを使用することになります。スーパーグリーンガラス溶解炉では、従来のガラス溶解炉に比して、ガラスの加熱方式を、ガス燃焼主体から電気加熱方式主体に転換したことで、ガラスの清澄をより促進できる構造となっています。また、四日市工場のスーパーグリーンガラス溶解炉では、エネルギー使用に起因するCO₂の排出量を従来のガラス溶解炉より約6～8%削減するとともに、エネルギーコストについても約5%程度の削減を実現しています。さらにガス燃焼に伴うサマルNOxや燃焼排ガス量を抑制する等、環境に配慮されたガラス溶解炉へ転換されています。四日市工場で開発された溶解炉の技術を海外拠点に展開することで、グループ全体でCO₂の排出量を抑制し、エネルギー効率を高めています。

◆ガラス溶解炉イメージ図





環境保全活動

Environmental conservation activities

ESCO診断

四日市工場における2009年度のエネルギー使用に起因するCO₂の排出量は約19千トンで、四日市工場で排出する全温室効果ガスの約98%と、非常に多くを占めています。一方、生産炉の集約・効率化およびガラス溶解炉の技術革新などの効果によって、2005年度比で約17千トンのエネルギー使用に起因するCO₂を削減しました。2009年度は、さらなるエネルギー使用の合理化を推進するため、省エネルギー化に必要な技術、設備、資金、人材などの包括的なサービスを提供するESCO事業者（Energy Service Company）に、省エネルギー施策発掘のための診断およびコンサルティングを依頼し、日々の小さな省エネ改善と合わせて、総力を上げて省エネルギー施策に取り組み、地球温暖化の解決に向け活動を推進しています。

ゼロエミッション

四日市工場では、「産業廃棄物の埋立て・単純焼却をゼロに近づけるために、産業廃棄物のリサイクル率を限りなく100%に近づけること」をゼロエミッションと定義し、ゼロエミッション活動に取り組んでいます。地球上に存在する限りある天然資源の消費を抑制し、持続可能な循環型社会の形成に寄与していくため、事業活動にともなって発生する産業廃棄物も有用な資源の一つであると認識、そのうえで、各製造工程から発生する廃棄物の徹底した分別および回収と処理業者の開拓に取り組むことで、ゼロエミッションを推進しています。2007年度より、産業廃棄物のリサイクル率100%を実現し、ゼロエミッションを継続して達成しています。



モーダルシフト

四日市工場では、特定の産業廃棄物の輸送において、鉄道貨物を利用したモーダルシフトによる輸送時のCO₂の削減に取り組んでいます。モーダルシフトとは、より環境負荷の小さい輸送方式に転換することであり、トラックでの個別輸送方式から、海運または鉄道などの一括大量輸送が可能な輸送方式に転換していくことです。鉄道を利用したモーダルシフトは、トラック輸送に比べ、CO₂の排出量を約1/7に抑制できると言われています。四日市工場は、貨物鉄道駅や港湾に近接して立地しており、モーダルシフトを推進する上で、非常に地の利に恵まれています。そのため、産業廃棄物の処理の委託においては、処理・輸送コストに加え、モーダルシフトによる環境負荷の低減などを総合的に評価し、物流による環境改善に取り組んでいます。



グリーン購入

四日市工場では、一般事務用品類を対象にグリーン購入を行っています。グリーン購入とは、購入の必要性を十分に検討し、品質や価格だけでなく環境のことも考えて、環境負荷ができるだけ小さい商品を、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。大量生産・大量消費・大量廃棄により引き起こされたとされる様々な環境問題を抱える社会構造を、より環境負荷の少ない持続可能な循環型・新炭素社会構造へ転換するための第一歩として、私たちは積極的にグリーン購入に取り組んでいます。

化学物質管理

AvanStrateグループでは、適正な化学物質管理を行うために、予防規定および取扱手順書等を策定し、運用しています。製造過程では数多くの化学物質を取り扱うため、化学物質に関連した法規制だけでなく、労働安全衛生に関連した法規制についても遵守し、製品の開発から廃棄に至るまで化学物質の適正管理を徹底していきます。

〈PRTR対象物質一覧〉

化学物質名	単位	区分	2007年	2008年	2009年
砒素	kg	取扱量	39,909	35,079	20,964
		排出量	5.3	4.0	2.2
		移動量	27,686	17,952	7,097
ほう素	kg	取扱量	244,527	189,639	134,457
		排出量	391	50	41
		移動量	153,514	94,697	68,077
バリウム	kg	取扱量	226,385	154,283	47,631
		排出量	4.3	3.9	2.2
		移動量	127,939	44,140	14,255
アンチモン	kg	取扱量	19,113	4,747	-
		排出量	4.0	3.0	-
		移動量	12,501	3,276	-

※四日市工場のみ

環境リスク管理

AvanStrateグループでは、液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の製造において、大気・水質・廃棄物に代表される環境に係わる法規制、または原料・薬品等の化学物質に係わる法規制など、幅広く多方面にわたる法規制の適用を受けています。2009年度において、環境に関する苦情や法令違反等の発生はありませんでした。今後も法令遵守はもとより、環境リスク管理を徹底していきます。

適用を受ける主な環境関連法規制(日本)

地球温暖化対策推進法

省エネ法

大気汚染防止法

水質汚濁防止法

特定工場における公害防止組織の整備に関する法律

高圧ガス保安法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

毒物及び劇物取締法

PRTR法

消防法／四日市火災予防条例

三重県生活環境の保全に関する条例

環境コミュニケーション

AvanStrateでは、社内外で積極的な環境コミュニケーションを展開しています。社内のコミュニケーションとしては、環境活動責任者会議をはじめ、環境活動推進者会議、環境会議などの定期開催、従業員向けに、環境手帳、ISOニュースの発行などに加え、環境パトロールも実施し、全社内の環境に関する情報の浸透と、従業員の環境活動に対するモチベーションの向上を図っています。また、社外の取り組みとしては、日本板硝子株式会社 四日市事業所と共同で、クリーン大作戦と称した工場周辺の清掃活動などを実施しています。

今後も積極的な環境コミュニケーションを展開していきます。



Column

現在AvanStrateでは環境管理水準のさらなる向上を目指し、全拠点の活動や管理状況等の複数の評価軸を設定しています。これは他拠点と比した自拠点の相対的な評価(強み・弱み等)を見える化し認識し、より進んだ拠点の管理に近づけ改善に繋げるためのものです。また、全拠点にてISO14001を管理ベースとしていますが、各拠点で法規制等が違いため判断基準を工夫しています。スーパーグリーンガラス溶解炉は、大気・廃棄物・エネルギー等、多方面の環境負荷を抑制しています。今後も環境と調和した成長を目指し、全社で取り組んでいきたいと考えています。



アドミニストレーション統括部
環境安全課 神田 幹生



環境パフォーマンスデータ

Environmental performance data

◎集計対象期間：2009年度（2009年4月～2010年3月末）

◎集計対象範囲：AvanStrate株式会社および海外3拠点

INPUT

エネルギー

電気 **288,670** (MWh)軽油 **1,750** (kl)都市ガス **8,729** (千m³)LNG **2,145** (t)LPG **1,861** (t)

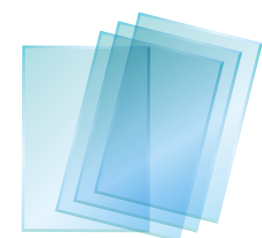
原材料

原料 **40,630** (t)

用水

上水 **1,845** (千m³)工業用水 **1,374** (千m³)中水 **674** (千m³)

製品

液晶ディスプレイ・パネル用
ガラス基板

OUTPUT

大気

CO₂ **188,279** (t-CO₂)NO_x **396.06** (t)SO_x **2.3** (t)ばいじん **9.39** (t)

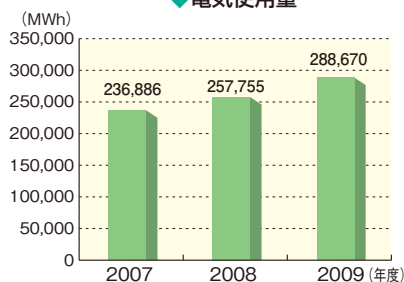
水質

排水 **2,126** (千m³)BOD **5.3** (t)COD **113** (t)

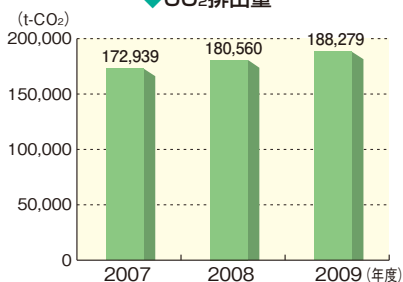
廃棄物

産業廃棄物 **15,008** (t)◎リサイクル **12,365** (t)◎最終埋立 **2,643** (t)特管廃棄物 **1,480** (t)◎リサイクル **179** (t)◎最終埋立 **1,201** (t)

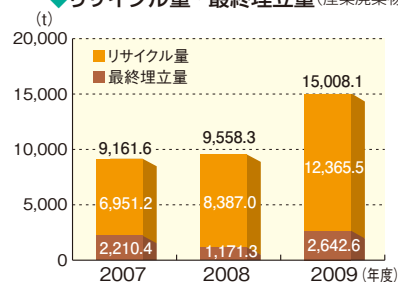
◆電気使用量



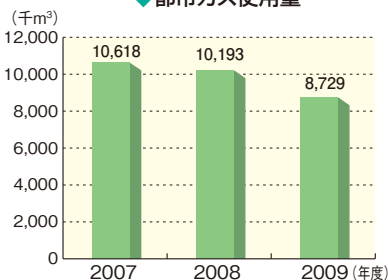
◆CO₂排出量



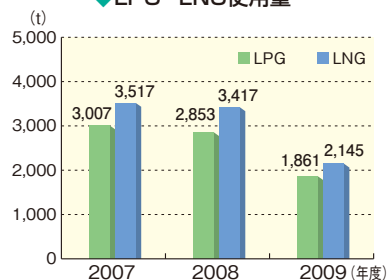
◆リサイクル量・最終埋立量(産業廃棄物)



◆都市ガス使用量



◆LPG・LNG使用量



◆軽油使用量



※CO₂排出量は、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に基づき、各拠点に供給している電力会社及びエネルギー供給会社から提供されたCO₂排出係数を使用して算出しています。また、CO₂排出量には、CO₂以外の温室効果ガスも含まれています（シンガポール除く）。



品質・CSへの取り組み Product quality & Customer satisfaction



品質マネジメントシステム

AvanStratelは、環境に配慮しながら、優れた品質の製品を開発・提供し、お客様のニーズにお応えするために、ISO9001やISO/TS16949などを活用し、各工場で品質マネジメントシステムを運用しています。今後も、品質マネジメントシステムの運用を通じて、徹底した品質管理・品質保証を実施していきます。



お客様満足への取り組み

AvanStratelは、お客様満足を向上させるために、迅速かつ柔軟に対応できるCS体制を各拠点で構築しています。また、お客様からの要望やクレーム等に対応する窓口としての機能も各拠点の営業部等が果たしています。

お取引先への取り組み

AvanStratelは、お取引先との連携により、環境・CSRへの取り組みをサプライチェーン全体で推進して、お互いの企業価値の向上を目指しています。取引を行う際は、グリーン調達ガイドラインに加え、CSR調達としてではなく、契約内容にCSRに関する条項を規定するなどして、お取引先に協力要請しています。

〈ISO認証取得〉

事業地域	認証取得年月日	
日本(四日市)	ISO9001	2005年9月
台湾	ISO9001 ISO/TS16949	2005年9月 2007年9月
韓国	ISO9001	2006年3月
シンガポール	ISO9001	2007年1月

研究開発体制

AvanStratelの研究開発は、主に本社部門である技術開発センター(Dセンター)のHOT部門とCOLD部門、そして一部シンガポール工場のCOLD部門において行われています。HOT部門では、液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の組成や、溶解炉による同ガラス基板の製造に関する研究開発を担当しており、COLD部門では、同ガラス基板の素板を切断・加工・洗浄する技術、および製品の検査・評価に関する研究開発を担当しています。

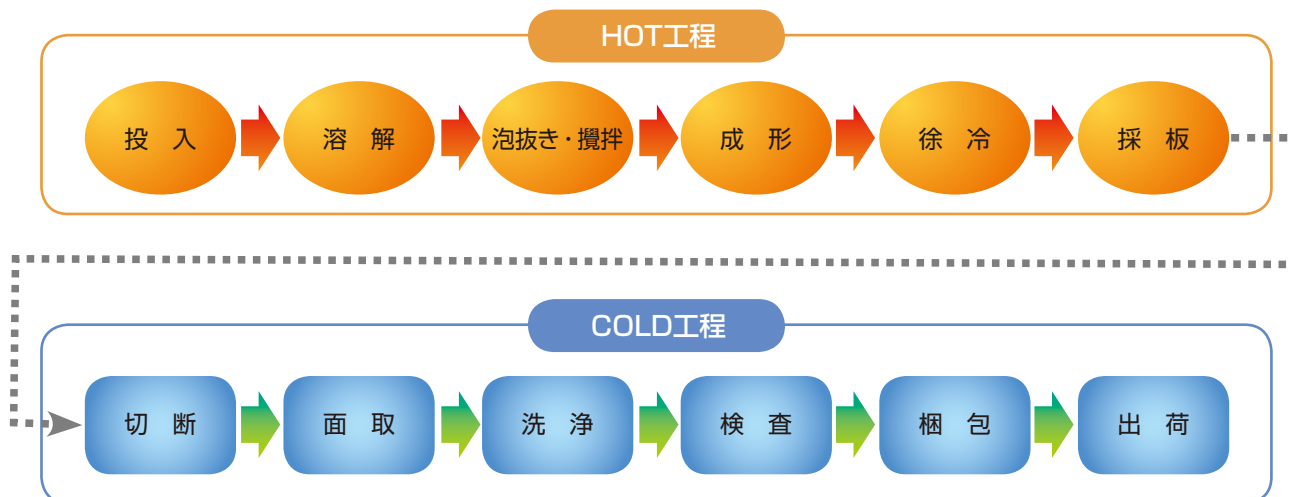
今後は、本社部門と各拠点が密接な関係を保持し、過去に蓄積した技術をさらに発展させ、お客様の新たなニーズへ対応するとともに、新たな事業分野への応用についても着実に実現していきます。



製造工程(HOT工程・COLD工程)

液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の製造工程は、原料を溶かして素板を成形するHOT工程と、お客様が求める形状に加工するCOLD工程の2つに分類されます。HOT工程では、表面が平滑

であることに加え、異物や気泡等無くして「欠陥密度」(単位あたりの欠陥数)を下げることで、COLD工程では、キズや汚れのない高い「表面品質」の確保が、それぞれ重要となっており、両者を適切にコントロールすることで高い品質の製品を製造することが求められています。



自動検査システム

AvanStrateでは、世界初のオリジナル評価装置を自動化し導入しており、サブミクロンレベルのパーティクルや傷を検出することが可能です。また、それらの画像を解析することで工程品質をモニタリングするなど、お客様ごとのスペックに適合させられるよう、プロセスの最適化に活かしています。

肉厚の薄いガラス基板

モバイル製品に求められる軽量化や、生産量の向上を図るため、より比重が小さいガラス組成や、薄く成形が可能な技術が必要になっています。AvanStrateでは、研究開発を進め、現在、第8世代のサイズで厚さ0.5mm、第5世代のサイズで厚さ0.4mmを実現。さらに厚さ0.3mmの実現に取り組んでいます。

最先端レーザーカット技術

AvanStrateでは、最先端のレーザーヘッドを搭載した、高性能レーザーカッティング装置による切断の実用化に取り組んでいます。レーザーカットの場合は、ダイヤモンドホイールでの切断に比べて破片の発生量を抑えられ、また、面取りが不要になるため工程を減らすことができます。さらに、レーザーであれば色々な形に切断したり、穴をあけることもできるため、将来の新しいアプリケーションに対しても、様々な応用が可能です。

Column

AvanStrateでは各拠点にCS課という顧客対応を担う部署があり、TCSという全拠点を統括する部門が本社組織として四日市にあります。AvanStrateでは高度な品質保持を目的とした製品の全数検査を業界に先駆けて導入いたしました。最近では生産拠点をまたがる物流も多く、またお客様から、製品の大きさ、薄さ、コスト等のニーズに迅速に応えるため、全拠点CS課の参加による定期的なミーティングの実施に加え、品質保証、営業、開発部門との密な連携を保ち対応しています。今後もお客様



第一の製品開発、品質向上に取り組んでいきたいと思っています。

四日市工場 CS課
寺田 聖



従業員との繋がり Employee



従業員に対する基本方針

AvanStrateでは、「個人の成長と企業価値成長の一体感を形成する」という基本方針に基づいて、従業員が持続的に成長し、働きがいの持てる環境の整備に取り組んでいます。また、「挑戦することにより、仕事を通じて喜びを感じ、組織のあちこちで仕事への『のめりこみ』が生じ、そこから創造的なアイデアが生まれている。垣根を越え、上下関係のない自由な討論を通じて互いの創造性を刺激し、個人のアイデアの総和を量的にも質的にも超える高度な創造と革新を生み出す。」という姿勢が、従業員に期待する姿であると考えています。

労働マネジメントシステム

AvanStrateグループでは、台湾・シンガポール・韓国の3拠点で、労働安全衛生マネジメントシステム規格「OHSAS 18001」を認証取得しています。このマネジメントシステムの導入により、労働災害発生の可能性やそれに伴う経営労働災害リスクの低減を図るだけでなく、従業員の満足度やモチベーションの向上、良好な職場環境の構築など、健全な組織経営の実現と組織の社会的信頼の獲得に努めています。

労使関係

AvanStrateグループでは、シンガポール拠点を除き、労働組合は結成されておりませんが、労使関係はいずれの拠点においても良好な関係が維持されています。今後も「会社」と「従業員」の良好な関係を維持し、社会から信頼される企業を目指していきます。

グローバルな人事制度

AvanStrateグループでは、従業員の最適配置をさらに進め、企業競争力を高め、従業員比率の過半を占める海外人材の活性化を図ることに加え、従業員のグローバルな意識や語学力の向上などを目指して、グローバル人事制度を企画しています。

〈従業員データ〉

	単位	2007年	2008年度	2009年
従業員				
総従業員数	人	1,275	1,441	1,532
男性	人	1,165	1,343	1,423
女性	人	110	98	109
正規社員	人	1,147	1,334	1,437
臨時雇用者	人	128	107	95
現地採用人数	人	1,010	1,144	1,266
平均年齢*	歳	35.9	36.8	37.2
平均勤続年数*	年	6.9	6.5	7.6
平均年間給与*	千円	5,814	6,659	5,907
マイノリティ				
障害者雇用率	%	0.5	0.4	0.5
再雇用利用者数	人	1	2	4
労働災害*				
度数率	%	0.000	0.000	0.000
強度率	%	0.325	0.000	0.000
福利厚生				
育児休職制度利用者数	人	89	105	100

※ AvanStrate株式会社のみ

人材育成(教育制度)

AvanStrateは、喜びやのめり込みからしか生まれない創造的な価値により、組織の成長を最大化していきたいと考えています。主な教育制度は、以下の通りです。

◆チューター制度

チューター制度は、新入社員集合研修を終えて職場に配属された新入社員に、先輩社員（チューター）がマンツーマンで付いてOJTを行う新人育成のための制度です。具体的には、「年間育成計画書」、「週報」、「四半期活動報告書」などを作成し、1年後のあるべき姿を明確に示した上で、新入社員、チューター、上司が一体となって、PDCAのサイクルを回していきます。

●チューター制度の狙い

1. マンツーマンのきめ細かい指導で、新入社員の早期戦力化を図ること
2. 身近な先輩社員が悩み・不安を解消することで、早い職場適応と自律的成長を促すこと
3. 新入社員のOJT担当者を明確にすることで、OJTを計画的かつ確実に実行すること
4. 先輩社員に、教育・指導を行う者としての自覚を持たせ、新人とともに成長する「共育」の風土を醸成すること

◆自己啓発プログラム

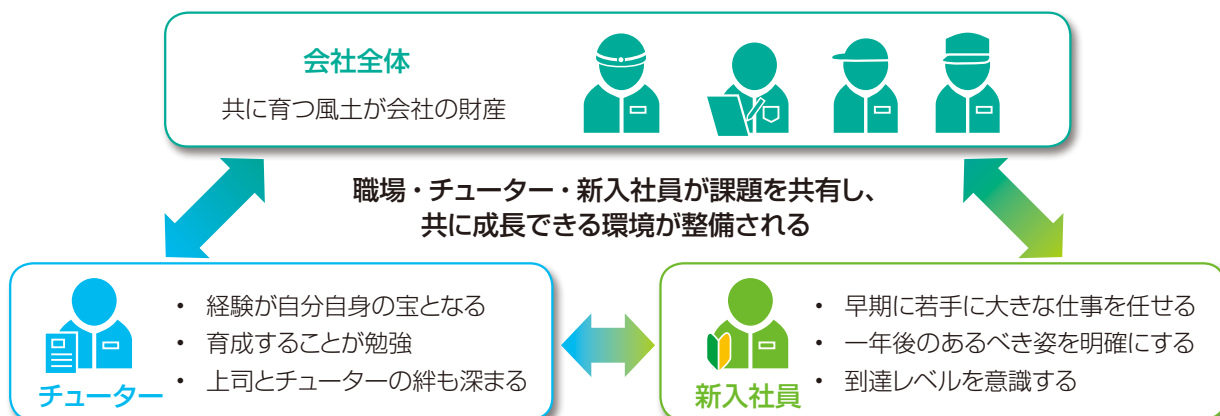
社員自身の学ぶ意欲を全面的にバックアップしています。実務に役立つ豊富な通信教育メニューを設定、パソコンスクールメニュー、受講者のレベルに合わせた社内英会話教室も運営しています。

◆分野別専門教育

技術教育などの専門性の高いものは、部署ごとに計画、実施されています。所属部署にかかわらずエンジニアとして共通に身につけておくべき知識として、統計的手法、プレゼンテーション能力、技術レポートの書き方、特許知識などの研修を計画的に実施しています。

◆階層別教育

役割等級制度と連動した階層別教育体系を用意し、その階層で必要とされる能力やスキルを明確にしたうえで、計画的に研修を実施しています。さらに社外研修や通信教育なども組み合わせて、臨機応変に効果的な教育を実施しています。



Column



アドミニストレーション統括部
人事・総務課 川島 藍（入社1年目）

AvanStrateの教育・研修プログラムは手厚い印象です。例えば、総務担当でも十分な工場研修が行われ、AvanStrateの事業の理解に役立っています。さらに通信教育メニューの充実も特長です。研修では、効果測定のため講座終了後にアンケート提出が原則となっており、取り組む側も気が抜けません。その他、新人向けにはチューター制度があり、きめ細かな指導に加え、先輩社員にレポートを提出しフィードバックを受けることで、新たな業務に活かす機会が確保されています。今後も積極的に、必要な業務スキルにあった研修に参加して、レベルアップしていきたいと思っています。



地域社会への取り組み

Community activities



インターンシップ受入

四日市工場では、三重県教育委員会および財団法人三重県産業支援センターが推進している「地域産業の担い手育成プロジェクト(文部科学省および経済産業省指定事業)」に参画し、毎年工業高校生を受け入れてインターンシップ(企業実習)を実施しています。

四日市工場の従業員による講義や実習を通じて、AvanStrateの技術や技能に触れてもらい、ものづくりへの意欲を高めていただき、「ものづくり人材育成」に少しでもお役に立てたらと考えています。



海外拠点での取り組み

韓国では、従業員とその家族、周辺住民も参加した工場祭を実施しており、従業員が出店した屋台での売上金を、地元自治体の社会福祉課へ、地域の恵まれない人たちへの支援金として寄付しています。また、シンガポールにおいては、シンガポール政府より、「Meritorious Defence Partner Awards」を受賞しています。

地元中学生工場見学

四日市工場は、地域に親しまれる工場を目指して、地域との交流に積極的に取り組んでいます。

四日市工場は、日本板硝子株式会社と共同で、毎年地元中学生を工場見学を受け入れ、ガラスの製造方法やガラスと社会との繋がりを学習してもらうとともに、AvanStrateのガラス加工ラインなどを見学してもらっています。

四日市港や港地域について学習を深めるため、実際に施設や企業を訪問し、その様子やそこで働く人々の姿を知り、社会の仕事を理解することに役立っています。



エコキャップ運動

AvanStrate本社では、日本板硝子株式会社 四日市事業所と共同で、2009年11月より「エコキャップ運動」を開始しました。

2010年9月30日現在でエコキャップ13,880個をNPO法人エコキャップ推進協会へ送り、協会を通じて、1,735人の子供たちにポリオワクチンを届けられました。小さな一歩ですが、今後も継続してエコキャップ運動に取り組んでいきます。



拠点紹介

Site profile

AvanStrate Korea Inc.

【所在地】 Hyeongok Industrial Park, 462, Hyeongok-ri,
Cheongbuk-myeon, Pyeongtaek-si,
Gyeonggi-do, 451-831, Korea
【従業員数】 約360人



AvanStrate株式会社 (本社・四日市工場／東京オフィス)

【所在地】 三重県四日市市千歳町2番地(本社・四日市工場)
【所在地】 東京都港区港南一丁目8番40号品川プレイス2F
(東京オフィス)

【従業員数】 約300人



AvanStrate Taiwan Inc.

【所在地】 No.8, Industry III Road, Annan, Tainan, 709,
Taiwan R.O.C.
【従業員数】 約700人



AvanStrate Asia Pte Ltd.

【所在地】 32 Tuas South Avenue 8
Singapore 637602
【従業員数】 約300人



第三者所見

Third party comment

中村 義人

東洋大学 経営学部教授
公認会計士

建設産業経理研究所理事
防衛省独立行政法人評価委員会委員
(社)協力隊を育てる会監事
(福)川崎市社会福祉協議会監事



AvanStrate株式会社(以下、「会社」という。)の「環境・CSRレポート 2010」(以下、「報告書」という。)を拝読し、また、会社のアドミニストレーション統括部の責任者から環境・CSR活動の取り組みについて説明を受け、報告書に対する第三者としての所見を述べさせていただきます。

会社は、ステークホルダーに向けて環境・社会活動などの取り組みを報告するため、今回初めて報告書としてまとめ、公表しました。また、報告書に第三者からのコメントを付けその内容の客観性を保つように努めました。

会社は、液晶テレビやパソコンなどに使用されている液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の製造を主たる事業としており、環境問題への対応について早くから取り組んで来ました。報告書の冒頭で社長が述べているように、液晶ディスプレイ・パネル用ガラス基板の製造過程で使用されている環境負荷物質の使用規制に対して、製造方法を転換することにより解決し環境経営の実践をしてきました。これは、会社の社会責任の具体的現れとして理解することができるものと思われます。

環境の取り組みについて

会社は、環境保全活動を経営の最重要課題と位置づけ、環境方針の基に会社グループの全拠点で ISO14001 の認証を取得し、環境マネジメントシステムの運用により地球環境問題への取り組みを実践しています。製造業においては、一般的にはその生産工程において、多くの環境負荷が発生しますが、会社はそのガラス溶解工程において、ガス燃焼主体から電気加熱方式である「スーパーグリーン溶解炉」に転換することで負荷削減に取り組んでいます。液晶ディスプレイは、世界的な需要の拡大が見込まれ、グローバルな生産・販売体制をとっている会社の経営においても地球環境問題に対する取り組みをグローバルに展開することが会社に対する責任であると考えます。

報告書において、今後検討すべき課題として次の点を挙げさせていただきます。

- 環境活動について、総合的に記載されている項目・数値について、グループ会社ごとに開示することが望ましい。
- 会社のCO₂の排出量は2007年から増加しているので、この点に関してその理由や対策について解説が必要である。
- さらに環境への取り組みが会社の経営成績にどのように関係したか、また会社の価値増加にどのように貢献したか、その記述が望まれる。

CSR活動について

会社の行動指針のひとつとして、「一人ひとりが法令を遵守し環境の保全に努め、高い倫理観をもって行動します。」と述べられています。これは、全従業員が企業の社会責任を十分認識し、行動することを意味し、社会から評価されるものと思います。報告書においては、健全な企業経営の基盤であるガバナンスやコンプライアンスについて詳細にその体制や活動が記載され、さらに、従業員や人権、地域への貢献などについて説明がなされています。

今後は、つぎのような点においてCSR経営の方針と活動を明確に説明されることを望みます。

- 会社のステークホルダーを明確に記載し、その具体的な対応について記載する。
- 海外事業所における経営の特色や労務管理、さらには環境リスクなどについて説明する。
- ガバナンス体制とCSR組織との関連性を構築する。
- 環境・CSR活動の結果として、財務状況がどのようなものであるか説明する。

今後、より一層の環境・CSR活動とその情報提供によりステークホルダーから社会的理解と信頼性を得て、会社の持続的な発展が促進されることを望みます。

(この所見は、報告書の記載内容の正確性や網羅性について、意見を表明するものではありません。)

GRIガイドライン対照表

GRI Guidelines Index

本レポートは、GRIガイドライン（GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドライン）2006（G3）に準拠して作成しています。GRIガイドラインは、CSRレポート（持続可能性報告書）の内容の質ならびに信頼性・比較可能性向上のため、国際非営利団体であるGRI(Global Reporting Initiative)によって作成された世界統一ガイドラインです。この対照表では「GRIガイドライン2006（G3）」の指標に該当する箇所をAvanStrateが判断し、開示しています。

また本報告は、GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006（G3）に定義される、アプリケーションレベルCに該当するものと考えています。



報告書適用レベル	C	C+	B	B+	A	A+
標準開示	G3 プロフィールの 情報開示 G3 マネジメント・ アプローチの開示 G3と業種別 補足文書の パフォーマンス 指標	報告 1 1 2 1 2 10 3 1 3 8 3 10 3 12 4 1 4 4 4 14 4 15 要求項目なし パフォーマンス指標について 少なくとも10の報告があること。 そのうち、社会、経済、環境、 分野について少なくとも一つ 報告があること。	レベルCの要求項目に 以下を加える 1 2 3 9 3 13 4 5 4 13 4 16 4 17 各カテゴリーの指標に対する マネジメント・アプローチの開示 パフォーマンス指標について少 なくとも20の報告があること。そ のうち、経済、環境、社会、労働、 社会製品責任分野について少 なくとも一つ報告があること。	外部保証を受けた報告書 外部保証を受けた報告書 G3の中核指標および業種別補足文 書のパフォーマンス指標に対応して いること。重要性の原則を考慮して、 a) 指標について報告、またはb) 指標 の報告の省略の説明があること。	レベルBと同様 各カテゴリーの指標に対する マネジメント・アプローチの開示 G3の中核指標および業種別補足文 書のパフォーマンス指標に対応して いること。重要性の原則を考慮して、 a) 指標について報告、またはb) 指標 の報告の省略の説明があること。	外部保証を受けた報告書 外部保証を受けた報告書

＜GRIガイドライン対照表＞

項目	指標	該当 ページ
1 戦略および分析		
1.1 組織にとっての持続可能性の適合性と、その戦略に関する組織の最高意思決定者（CEO、会長またはそれに相当する上級幹部）の声明		P3-4
1.2 主要な影響、リスクおよび機会の説明		P3-4
2 組織のプロフィール		
2.1 組織の名称		P5
2.2 主要なブランド、製品および／またはサービス		P5
2.3 主要部署、事業会社、子会社および共同事業などの組織の経営構造		P6
2.4 組織の本社の所在地		P5
2.5 組織が事業展開している国の数および大規模な事業展開を行っている、あるいは報告書中に掲載されているサステナビリティの課題に特に関連のある国名		P5-6
2.6 所有形態の性質および法的形式		P6
2.7 参入市場（地理的内訳、参入セクター、顧客／受益者の種類を含む）		P6
2.8 以下の項目を含む報告組織の規模 従業員数 純売上高（民間組織について）あるいは純収入（公的組織について） 負債および株主資本に区分した総資本（民間組織について） 提供する製品またはサービスの量		P5,17 P5-6 P6 P14,20
2.9 以下の項目を含む、規模、構造または所有形態に関して報告期間中に生じた大幅な変更 施設のオープン、閉鎖および拡張などを含む所在地または運営の変更 株主資本構造およびその資本形成における維持および変更業務（民間組織の場合）		P6
2.10 報告期間中の受賞歴		P19
3 報告要素		
報告書のプロフィール		
3.1 提供する情報の報告期間（会計年度／暦年など）		P2
3.2 前回の報告書発行日（該当する場合）		P2
3.3 報告サイクル（年次、半年ごとなど）		P2
3.4 報告書またはその内容に関する質問の窓口		P2
報告書のスコープおよびバウンダリー		
3.5 以下を含め、報告書の内容を確定するためのプロセス 重要性の判断 報告書内およびテーマの優先順位付け 組織が報告書の利用を期待するステークホルダーの特定		P2
3.6 報告書のバウンダリー（国、部署、子会社、リース施設、共同事業、サプライヤー（供給者）など）		P2
3.7 報告書のスコープまたはバウンダリーに関する具体的な制限事項を明記する		P2
3.8 共同事業、子会社、リース施設、アウトソーシングしている業務および時系列でのおよび／または報告組織間の比較可能性に大幅な影響を与える可能性があるその他の事業体に関する報告の理由		P2
3.9 報告書内の指標およびその他の情報を編集するために適用された推計の基となる前提条件および技法を含む、データ測定技法および計算の基礎		P14
3.10 以前の報告書で掲載済みである情報を再度記載することの効果の説明、およびそのような再記述を行う理由（合併／買収、基本となる年／期間、事業の性質、測定方法の変更など）		P6
3.11 報告書に適用されているスコープ、バウンダリーまたは測定方法における前回の報告期間からの大幅な変更		P2
GRI内容索引		
3.12 報告書内の標準開示の所在場所を示す表		P22
4 ガバナンス、コミットメントおよび参画		
ガバナンス		
4.1 戦略の設定または全組織的監督など、特別な業務を担当する最高統治機関の下にある委員会を含む統治構造（ガバナンスの構造）		P7
4.2 最高統治機関の長が執行役員を兼ねているかどうかを示す（兼ねている場合は、組織の経営におけるその役割と、このような人事になっている理由も示す）		P7
4.3 単一の理事会構造を有する組織の場合は、最高統治機関における社外メンバーおよび／または非執行メンバーの人数を明記する		P7
4.4 株主および従業員が最高統治機関に対して提案または指示を提供するためのメカニズム		P7
外部のイニシアティブへのコミットメント		
4.11 組織が予防的アプローチまたは原則に取り組んでいるかどうか、およびその方法はどのようなものかについての説明		P7
ステークホルダー参画		
4.14 組織に参画したステークホルダー・グループのリスト		P2
4.15 参画してもらったステークホルダーの特定および選定の基準		P2

項目	指標	該当 ページ
5 マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標		
経済		
マネジメント・アプローチ		P5-7
側面：経済のパフォーマンス		
EC1 中核 収入、事業コスト、従業員の給与、寄付およびその他のコミュニティへの投資、内部留保および資本提供者や政府に対する支払いなど、創出および分配した直接的な経済的価値		P5-6,17
EC3 中核 確定給付型年金制度の組織負担の範囲		P6
側面：市場での存在感		
EC7 中核 現地採用の手順、主要事業拠点で現地のコミュニティから上級管理職となった従業員の割合		P17
環境		
マネジメント・アプローチ		P10-11
側面：原材料		
EN1 中核 使用原材料の重量または量		P14
側面：エネルギー		
EN3 中核 一次エネルギー源ごとの直接的エネルギー消費量		P14
EN4 中核 一次エネルギー源ごとの間接的エネルギー消費量		P14
EN5 追加 省エネルギーおよび効率改善によって節約されたエネルギー量		P12
EN6 追加 エネルギー効率の高いあるいは再生可能エネルギーに基づく製品およびサービスを提供するための率先取り組み、およびこれらの率先取り組みの成果としてのエネルギー必要量の削減量		P12
EN7 追加 間接的エネルギー消費量削減のための率先取り組みと達成された削減量		P12
側面：水		
EN8 中核 水源からの総取水水量		P14
側面：排出物、廃水および廃棄物		
EN16 中核 重量で表記する直接および間接的な温室効果ガスの総排出量		P14
EN18 追加 温室効果ガス排出量削減のための率先取り組みと達成された削減量		P12
EN20 中核 種類別および重量で表記するNOx、SOxおよびその他の著しい影響を及ぼす排気物質		P14
EN21 中核 水質および放出先ごとの総排水量		P14
EN22 中核 種類および廃棄方法ごとの廃棄物の総重量		P14
側面：製品およびサービス		
EN26 中核 製品およびサービスの環境影響を緩和する率先取り組みと影響削減の程度		P11-12
側面：輸送		
EN29 追加 組織の業務に使用される製品、その他物品、原材料の輸送および従業員の移動からもたらされる著しい環境影響		P12
労働慣行とディセメント・ワーク（公正な労働条件）		
マネジメント・アプローチ		P17
側面：雇用		
LA1 中核 雇用の種類、雇用契約および地域別の総労働力		P17
LA2 中核 従業員の総離職数および離職率の年齢、性別および地域による内訳		P17
LA3 追加 主要な業務ごとの派遣社員またはアルバイト従業員には提供されないが、正社員には提供される福利		P17
側面：労使関係		
LA4 中核 団体交渉協定の対象となる従業員の割合		P17
側面：労働安全衛生		
LA7 中核 地域別、傷害、業務上疾病、損失日数、欠勤の割合および業務上の総死亡者数		P17
側面：研修および教育		
LA11 追加 従業員の継続的な雇用適性を支え、キャリアの終了計画を支援する技能管理および生涯学習のためのプログラム		P18
側面：多様性と機会均等		
LA13 中核 性別、年齢、マイノリティグループおよびその他の多様性の指標に従った、統治体（経営管理職）の構成およびカテゴリー別の従業員の内訳		P17
LA14 中核 従業員のカテゴリー別の、基本給与の男女比		P17
人権		
側面：投資および調達への慣行		
HR2 中核 人権に関する適正審査を受けた主なサプライヤー（供給者）および請負業者の割合と取られた措置		P15
社会		
マネジメント・アプローチ		P19
製品責任		
マネジメント・アプローチ		P15-16
側面：顧客の安全衛生		
PR1 中核 製品およびサービスの安全衛生の影響について、改善のために評価が行われているライフサイクルのステージ、ならびにそのような手順の対象となる主要な製品およびサービスのカテゴリーの割合		P15
側面：製品およびサービスのラベリング		
PR5 追加 顧客満足度を測る調査結果を含む、顧客満足に関する実務慣行		P15

AvanStrate株式会社

お問い合わせ先

AvanStrate株式会社 アドミニストレーション統括部

TEL : 03-5780-7638 FAX : 03-5780-7635

◎お問合せフォーム

<http://www.avanstrate.com/inquiry/>